

第1 チャレンジ理論問題コンテストに関するお知らせ

2018年7月17日 NPO 物理オリンピック日本委員会 (JPhO)

西日本豪雨において、被災された方々、そのご家族の方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。できるだけ早く、これまでどおりの生活に戻られることを祈念いたしております。

7月8日に実施されました第1 チャレンジ理論問題コンテストにつきまして、関係者の皆様には大変な状況のなか実施に関してご協力いただき、心より感謝申し上げます。実施日の前の週から大雨特別警報等が発令されて実施中止を余儀なくされた会場が6カ所ありました。また実施した会場でもそこへのアクセスが不可能であったために理論コンテストに参加できなかった生徒さんも多くおられ、参加費を支払って参加登録された1,542名のうち170名の方が参加できませんでした。

このことに関して、多くの方々から貴重なご意見、ご提案をいただきました。深く感謝しております。全参加登録者の約1割強の生徒が理論問題コンテストに参加できなかったという事態に対して、追試験等の可能性について検討して参りました。しかしながら、限られた時間内にその体制をつくり、公平性を担保する試験を実施することが極めて困難であり、追試験等の措置を断念せざるをえませんでした。JPhOとしては、今回については、従来の選抜方式に従い、実験課題レポートを提出し、理論問題コンテストに参加した方を対象にして、第2チャレンジ進出者101名を決定致しました。

大きな期待を抱いて理論問題コンテストに向けた準備をしながら参加できなかった生徒の皆様、そしてその関係者の皆様には、誠に申し訳ありませんが、状況をご理解いただきたいと思います。

なお、今後の物理チャレンジの実施方法について検討する「選抜方法検討特別委員会」をJPhO内に設置いたしました。事態の分析と可能なかぎりの措置のあり方を検討し、来年以降は想定されるリスクに対応できる実施方法と体制を構築して参りたいと思います。そこにおいて皆様からお寄せいただいた貴重なご意見を活かしてまいります。

今回の事態に関して多くの方々から貴重なご意見ご提案ご支援をいただき、重ねて感謝申し上げます。

今後とも引き続き、物理オリンピック事業へのご協力をお願い申し上げます。